

丹沢：四十八瀬川 小草平ノ沢

- ◆日程 2017年5月14日(日)
- ◆メンバー L：佐藤t、須田、小林、前田、小山田、岡村
- ◆天候 曇り

渋沢駅に8:40集合、新会員の岡村さん、初めての沢登りとなる小山田さんを入れて6名での沢登りとなります。前日の雨で林道が悪くなっていると思っていましたが、ぬかるんでいる箇所も無く、10:00頃目的地に到着。

二俣の木橋付近で沢装備を整え、最初の堰堤を抜け、勘七沢の分岐を左手に見てから、小草平沢のF1(5m)をロープで慎重に登りました。続く4m+3m+5m滝を登りましたが、滝の勢いは予想より穏やかでした。小滝を抜け、4m滝の手前でロープを出して各自、オートブロックノットや、プルージックノットを使った中間者登はんの練習、その後も支点の取り方や、沢でのビレイ方法など、練習時間を取りながら遡行をしました。



沢の中間付近で昼食、新緑に囲まれた滝の上で十分に時間をとりました。後半の沢は倒木で荒れ気味です。6m滝を残置のシュリングに掴まり慎重に登ったり、悪そうな滝を高巻いて、足場が悪くヒヤヒヤしたりしましたが、堀山の家 付近の稜線に登山者の影を見て最後の急登でゴール、15:00時には下山開始となりました。

今回は殆どの滝を登ることが出来き、時間的にも急ぐこと無く充実した1日でした。

CT：大倉バス停 9:00—西山林道—二俣 10:10—小草平沢 F1 11:00
— 遡行—小草平(堀山の家手前) 14:40—大倉バス停 16:30

(記：佐藤t)

新入会員 岡村さんコメント

入会前にもかかわらず、小林さんに会の方々とは別に計画書を作成していただき、小草平の沢に同行させていただきました。前日の雨による増水が心配されましたが、道のぬかるみも増水もなく、あるいは丹沢地方は雨が降らなかったのではないかと思うほどでした。美しい新緑の中、ザイルをこまめに出していただいて、大小の滝を真正面から登りました。そして、「やりたかったことって、これだ!」と思うに至りました。その思いを確認しつつ大倉尾根を下り、乾杯があり、楽しいお話があり、やがて、入会書類がするすると出てきたので、ビールをテーブルの脇に置いて、必要事項を記載しました。以後、よろしくお願いします。